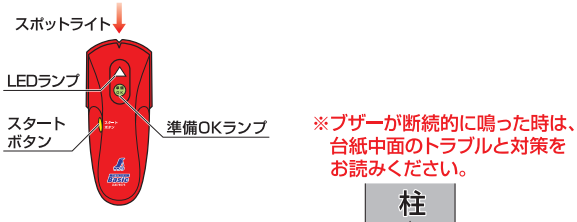


■各部の名称



■使用方法(概略)

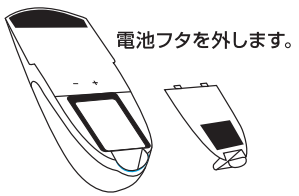
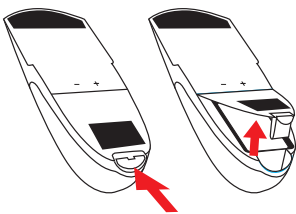


注意

探知物検出深度には壁の厚み・壁密度・壁湿度の三つの主な要素が関係してきます。次のような高密度、密度が一定でない材質、凹凸のある材質を通しての探知はできませんのでご注意ください。
・金属壁・コンクリート・ラス・セラミック床タイル・レンガ
・カーペット等の敷物・金属繊維を含む壁紙
・ペンキ塗りたてや壁紙貼りたてで壁が塗れている場合(乾くまで一週間以上かかる場合もあります)…など。
また、偶然柱の真上からスライドさせると探知できません。

■電池交換

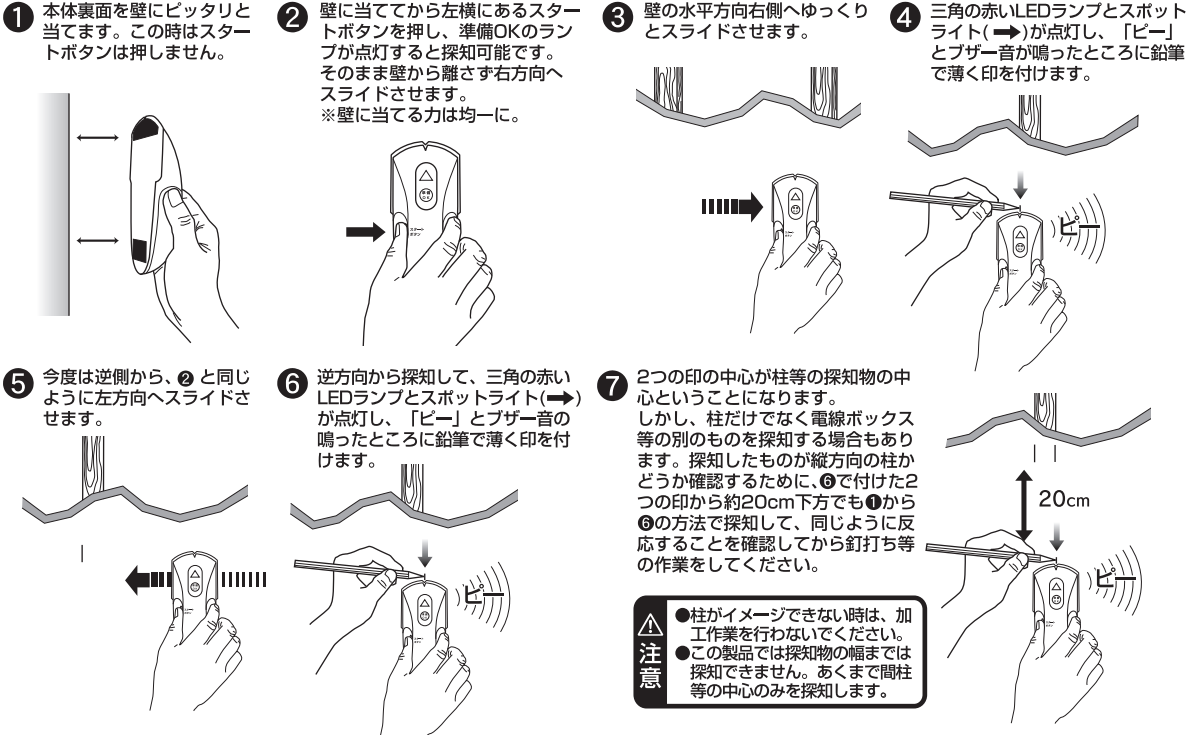
本体を裏返して電池フタのツメを押しながら上げます。



※プラスとマイナスを逆に入れると故障の原因になります。

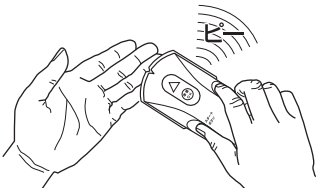
※付属の電池はモニター用です。電池寿命が短い場合があります。

■使用方法



■作動確認

反応に疑問を感じたときは、空中でスタートボタンを押し、手を裏面に当てます。このときにLEDランプが点灯すれば反応は正常です。



■トラブルと対策

状 況	考えられる原因	解 決 法
ビッビッビと音が断続的に鳴る。	●壁内の密度の高い位置や柱等の真上から探知を開始した。 ●壁にピッタリ当てていない。 ●探知中に本体がぶれたり、壁から離れたりした。	●探知開始場所を左右どちらかに数cm移動させ、ボタンを押し直してもう一度探知を開始する。 ●表面の荒い壁などには厚紙などを当て、その上を本体が滑らかにスライドするようにする。 ●本体は必ず柱や探知物と並行になるように持ち、それらに直交するように移動する。
LEDが点灯するところが多すぎる。	●間柱以外の物を検出している。 ●電気配線や金属製・プラスチック製の管が壁の裏面かその近くにある。 ●探知している壁材の密度が均一でない。主な原因として湿気・虫食い・気泡等が考えられる。	●これらが存在する可能性がある場合、壁・床・天井への釘打ち・切断・穴あけの作業は中止する。 ●探知したものが縦方向の柱かどうか確認するには、印を付けた場所の上下20cmのところと同じように反応するか確認する。

注意

●電気配線の近くの釘打ち・切断・穴あけ等の作業の際には、必ず電源(ブレーカー)を切ってから作業をしてください。
●壁裏に間柱を探知して釘を打つ場合、掛けたり吊るしたりするものの重量に耐えられるかどうかを、事前によくご確認ください。

注意

●落下等の強い衝撃を与えますと故障しますのでご注意ください。
●使用しないときは電池を外して保管してください。入れっぱなしにしていると、液漏れすることがあります。

■壁材と探知物及び探知物検出深度の早見表

壁材	ベニヤ板	石膏ボード	ALC板	コンクリート	モルタル	金属
探知物	○	○	○	○	○	○
プラスチック	○	○	○	○	○	○
金属・木材	○	○	○	○	○	○

約19mm

※数字は壁材表面から探知物を検出可能な深さの概略値です。
※ALC板とは、軽量気泡コンクリートの略です。

この製品は壁の材質や構造によって(特に湿気があると)正確に探知できない場合がありますので、ご了承ください。

■仕様

材 質	ABS樹脂
本体サイズ	136×56×35mm
製品質量	101g(電池含)
電 源	9V アルカリ乾電池 1個



お問い合わせ
0120-666899
受付時間(土日祝日除く)
AM8:30~PM5:00
輸入発売元
シンワ 測定株式会社
〒955-8577
新潟県三条市興野3-18-21
URL <http://www.shinwasokutei.co.jp>
MADE IN CHINA